



研究会 No. 78 : 研究集会

触媒材料の金属学研究会 第2回ミニシンポジウム 「箔型金属触媒の現状と可能性」

金属は触媒材料のキーマテリアルとして古くから利用されているにも関わらず、意外なことに金属学の視点から触媒材料に関して深く議論されることはこれまでほとんどなかった。そこで、本研究会はバルク金属・合金を研究対象とすることで金属学を適用させた全く新しい金属触媒材料の学理構築を目指している。今回はユニークな触媒材料として期待されている「箔型金属触媒」にフォーカスして金属材料の専門家と触媒材料の専門家をお招きして、新規な金属触媒材料としての現状と可能性について活発な意見交換を行う。

日 時 2018年2月23日(金) 13:30 ~ 17:00
場 所 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 千現キャンパス
本館第二会議室 (〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1)
(http://www.nims.go.jp/nims/office/tsukuba_sengen.html)
つくばエクスプレス (TX) つくば駅より徒歩 15 分程度

プログラム

13:30 - 13:40 開会のあいさつ (趣旨説明)
13:40 - 14:40 「金属系モノリス触媒の現状と可能性」
NIMS 平野 敏幸 氏
14:40 - 15:40 「オーバーレイヤー構造を有する金属箔触媒の設計とメタルハニカムへの応用」
熊本大学 町田 正人 氏
15:40 - 16:00 休憩
16:00 - 17:00 「組成・組織制御による金属箔の触媒特性の向上」
NIMS 許 亜 氏

終了後 懇親会

企画責任者 亀岡 聡 (東北大・多元研)、許 亜 (NIMS)

参加費 一般 1,000 円、学生は無料。懇親会費は 2,000 円。

申込・問合せ 2月19日(月)までに E-mail または FAX にて氏名、所属、電話番号を明記してお申し込み下さい (懇親会出席の有無を含む)。

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学多元物質材料研究所 亀岡 聡

TEL&FAX 022-217-5723,

E-mail: kameoka@tagen.tohoku.ac.jp